

はぐくもう！デジタル・シティズンシップ

ネットリテラシーの育成に向けた協議会

【秋田市PTA連合会 秋田市小・中学校長会 秋田市教育委員会】

子どもたちは、配布されたタブレット端末や自分用の端末（スマートフォンなど）を用いて、学習やコミュニケーションなど、日常の様々な場面でICTを利用しています。

こうした中、子どもがICTの特性を理解し、よりよい選択や行動ができるよう、学校と家庭が連携、協力し、デジタル・シティズンシップをはぐくむことが大切です。

【参考】



デジタル・シティズンシップとは



<https://x.gd/Jca1q>

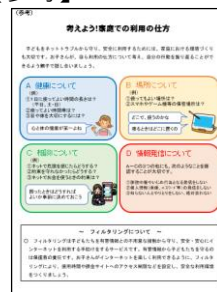
家庭では



お子さんが端末を安全に利用できる環境や、安心して相談できる環境を整えることが大切です。

また、お子さんとインターネット等とのよりよい関わり方について、話し合ってみましょう。

【参考】



考えよう！ICTとのよりよい関わり方



<https://x.gd/eAzGc>

学校では

デジタル・シティズンシップをはぐくむために

関係機関の活用



各教科等の学習や、学校生活を通して、情報活用能力をはぐくみます。

また、情報技術の活用について、子どもが自ら考える場をつくり、ICTをよりよく利用しようとする意識を高めます。



警察等の外部講師を活用したネット安全教室等を実施するなど、ICTのよりよい活用について子どもと保護者が共に考える機会をつくります。また、学級懇談等で話題にすることで、学校と家庭の共通理解を図ることができます。

デジタル機器をよりよく使うために

デジタルネイティブ宣言をもとに、インターネットやSNSの、家庭でのよりよい活用の仕方について話し合ってみましょう。

【参考】



デジタルネイティブ宣言とは



<https://x.gd/06g94>

相手を尊重した使い方をします

SNS等で友達とやりとりする時間や頻度、表現の仕方などについて考えてみましょう。



自分に誇りをもてる使い方をします

インターネットやSNSの情報の真偽を判断する力や情報発信する際の責任の大切さについて考えてみましょう。



デジタルネイティブ宣言

自分の健康を第一に考えます

利用時間や利用場所、姿勢など、健康を大切にしたい使い方について話し合ってみましょう。



困ったときは周りの人に相談します

インターネットでトラブルにあったときなど、困ったときにすぐに相談できる環境をつくりましょう。



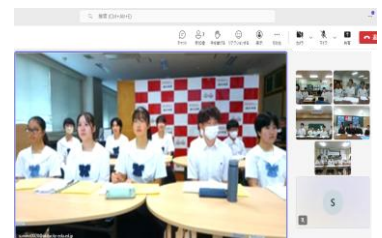
中学生サミットの取組 ～「デジタルネイティブ宣言」の実践～

「デジタルネイティブ宣言」の考えを実践に結び付け、各校で推進できるよう、中学校の生徒会代表がオンラインによる交流活動を行いました。



【生徒の感想から】

- ・ A 中学校：相手のことを尊重し、言葉や表現を選んで話さなければいけないと思いました。
- ・ B 中学校：気軽に使うことができるのはいいのですが、インターネットの利用について、ルールを考える必要があると感じました。



- ・ C 中学校：オンラインでは、相づちを打つなど、会話以外のコミュニケーションも大切なことだと分かりました。
- ・ D 中学校：実際に対面する会議と同じように話し合いを進めることができました。今後もオンラインで交流したいと思います。